



「Photography and the American Scene」の著者、  
ニューヨークが生んだ伝説的写真家

永遠のソール・ライター

# Forever Saul Leiter

2020 4.11 - 5.10

開催期間：4月11日 - 5月10日 入場料：一般観覧料500円（税込）学生観覧料300円（税込）  
 入場時間：11時 - 19時（最終入場は18時） 休 日：休 日 休 日（4月11日、12日、13日）  
 主催：美術館（公） 協賛：美術館（公） 協賛：美術館（公） 協賛：美術館（公）  
 協賛：美術館（公） 協賛：美術館（公） 協賛：美術館（公） 協賛：美術館（公）  
 協賛：美術館（公） 協賛：美術館（公） 協賛：美術館（公） 協賛：美術館（公）

美術館（公）KYOTO 2020 4.11 - 5.10



# Saul Leiter

PHOTOGRAPHER | 日本経済新聞社 | PHOTOGRAPHY | 2019年

ニューヨークの中心に活躍する写真家 永遠のポール・ライター

旅行写真が与えてくれたことのひとつ、それは、見ることも書かぬ。  
One of the things photography has allowed me to do is take pleasure in looking.



© SAUL LEITER. COURTESY OF THE MUSEUM OF MODERN ART



© SAUL LEITER. COURTESY OF THE MUSEUM OF MODERN ART

「旅行写真が与えてくれたことのひとつ、それは、見ることも書かぬ。」  
ライターの言葉は、写真の持つ力、そして見る行為の重要性を説き及ぼしている。ライターの作品は、見る行為そのものが目的であり、見ることで得られる喜びこそが、彼の作品の真の価値である。ライターの作品は、見る行為そのものが目的であり、見ることで得られる喜びこそが、彼の作品の真の価値である。



**ライターの作品**  
ライターの作品は、見る行為そのものが目的であり、見ることで得られる喜びこそが、彼の作品の真の価値である。

**ライターの作品**  
ライターの作品は、見る行為そのものが目的であり、見ることで得られる喜びこそが、彼の作品の真の価値である。



「文芸」  
文芸春秋社  
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
TEL: 03-5561-3111

